

第2期

興居島地区地域福祉活動計画

令和2年度～令和6年度

基本理念 「思いやり 心で結ぶ ごご島の里」



興居島地区社会福祉協議会
(興居島地区地域福祉活動計画策定委員会)

【興居島】



興居島は、高浜の沖合 2km ほどの海上にある島です。面積は 8.74 平方 km、約 24km の海岸線を持つ島には、高浜港から、一社が運営するフェリーが日中、運行しています。

島のほとんどは柑橘畑で、平坦な部分はわずかで、由良や泊、船越、御手洗、鷲ヶ巣、北浦、馬磯、門田などの集落も海辺の平坦地にそれぞれ点在しています。

秋は伝統ある船踊り、春（4月20、21日）は島四国（ミ二四国八十八ヶ所）のお遍路さんで賑わいます。

《島名の由来》

島の由来は複数あります。「予章記」では、興居島の守護神“和気姫”が産んだ三番目の子、小千御子（おちのみこ。河野家の先祖）が“母が居る島”という意味の“母居島（もいじま）”と呼んだのが興居島に転じたという説。

「愛媛面影」では、「凝堅（こりかたま）りて成出」たという意味からこの地名が生れたとしています。

《興居島に関連する句碑》

泊公民館に正岡子規が明治 28 年に詠んだ「鶏なくや小富士の麓桃の花」の句碑があります。明治頃、桃は島の名産のひとつでした。

高浜の黒岩口に、「興居嶋へ魚舟いそぐ吹雪哉」という碑があり、松山観光港前には、「雪の間に小富士の風の薫りけり」という句碑があります。

《船踊り》



昔、伊予水軍が盛んだったころ、島に凱旋した戦士を、島民たちが歓迎するのに応えて、船上で戦士たちが、戦いの様子を身振りで伝えたのが起源だとされ、船越の和気比売神社の秋祭りに催されます。

漁船にしつらえた船舞台の上で、歌舞伎からとり入れた「伊予水軍」「忠臣蔵」「曾我兄弟」などが演じられますが、すべて黙劇で行なわれるのが特徴です。船舞台を引く權伝馬も種々の漕法をみせて勇壮です。県の無形民俗文化財に指定されています。

【日 時】 毎年10月第1土曜日

《恋人峠》



興居島の泊港に近いところに「恋人峠」があります。

松山空港も望め伊予灘の絶景が広がりっています。

何か願いが叶いそうな予感がする峠です。

地域福祉活動計画の策定にあたり

この度、興居島地区社会福祉協議会（以下「地区社協という。」）では、第2期興居島地区地域福祉活動計画（以下「活動計画」という。）を策定しました。

活動計画の基本理念に「思いやり・心で結ぶ・ごご島の里」を掲げ、住民による「心のこもった、思いやりの福祉活動の充実」が、地域と住民の幸せにつながることを切に願うものとなっています。

松山港の沖合2kmに位置する面積8.74 km²の島「興居島」は瀬戸内特有の美しい海岸線と温暖な気候を利用した柑橘栽培の風光明媚な島で、古くから船越和気比売神社の秋の祭礼に行われる豪快勇壮な「船踊り」は、極めて珍しい地方芸能として国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」・県指定無形民俗文化財の指定を受けるなど、伝統文化の息づく島でもあります。

地区社協は、近年、少子高齢化が加速度的に進む私たちの島の豊かな暮らしを守り伝え、支え続けるため、令和2年度総会にて、新たに重点項目を掲げ、日頃より住民同士が支え合い、助け合いながら「自分らしく安心して暮らしていける地域社会」を構築するための、今後5ヶ年の活動を計画に盛り込み、活動の充実に努めるとともに、各町会や民児協・まち協、市社協や関係機関との連携・協働を深め地域の福祉力を高めていきたいと思えます。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの感染が急速に拡大し、感染拡大防止のためのステイホーム（自宅待機）が叫ばれ、自分や家族、まわりの人の健康を守るため、これまで進めてまいりました地域福祉活動も中止・縮小せざるを得ない事態が生じています。

地区社協では、ひとり暮らし高齢者の方々などの話し相手や集う場所が無くなり、認知症の症状が悪化するなど、人と人とのつながりが希薄化し、高齢者の孤立死が危惧される中、感染の防止に十分注意しながらも、「つながりを絶やさない」事を目的に、孤立化をできる限り防ぐ活動をめざしてまいりますので、地域のみなさま方には、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年9月

興居島地区社会福祉協議会

会長 山内 耕太郎

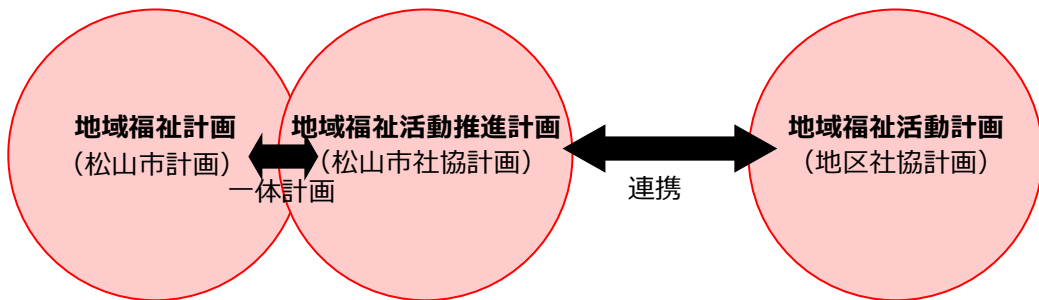
目 次

松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較	・ ・ ・ ・ P1
地区社会福祉協議会について	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P2
興居島地区、地区社協の概要	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P3
興居島地区地域カルテ	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P4~5
活動計画策定委員会の開催状況	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P6
興居島地区地域福祉活動計画策定委員名簿	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P7
興居島地区地域福祉活動計画	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P8~P10
興居島地区地域福祉台帳	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P11~P15
興居島地区社会福祉協議会役員名簿	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P16
興居島地区の紹介	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P17~P20

■ 松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較

地域福祉の推進を図るためには、下記の計画が内容を一部共有したり、策定過程を共有する等、相互に連携し一体となって進めることが重要であり、互いに補完・補強しあう関係にあります。

【イメージ図】



【地域福祉に関する計画の比較】

計画	地域福祉計画・地域福祉活動推進計画 (このまちのえがおプラン)	地域福祉活動計画
策定主体	松山市・松山市社協	興居島地区社協
対象地域	松山市内	地区内
実施期間	5年	5年
基本目標 (基本理念)	みんなが つながる 支える まちづくり	思いやり 心で結ぶ ごご島の里
計画の特徴	<p>目標1 支えあいの心を育む</p> <p>目標2 みんながつながり参加できる環境づくり</p> <p>目標3 丸ごと支援のしくみづくり</p> <p>目標4 福祉サービスの健全な発達と適切な利用促進</p> <p>以上の4項目を個別目標に掲げ、住民一人ひとりや住民組織、ボランティアグループ、NPO等の関係団体、学校、事業所等、地域の多様な主体がそれぞれの役割を担いながら、互いにつながり、支えあうことで、“誰もが暮らし続けたい”と思えるまちづくりを目指します。</p>	<p>①地区社協の基盤整備 ②福祉学習とボランティア ③在宅福祉・生きがい介護予防サービス ④関係団体との協働・連携 ⑤その他</p> <p>以上の5項目を基本とし、地域性を活かした事業を計画的に展開する。地区社協が中核となって、住民の主体的参加を基本とした地域福祉活動をより計画的・具体的に進めるとともに、地区社協の基盤強化を図る。</p>

■ 地区社会福祉協議会について

(1) 地区社協と市社協の役割と現状

地区社協とは、地域福祉に関する問題や課題を住民が主体となって発見・協議し、解決のための方法を自らが考え、実践に結びつけると共に、必要に応じて市社協をはじめ関係団体等と連携・協働し「地域住民だれもが住みやすいまちづくり」を目指す任意の団体です。

(2) 地区社協と市社協の連携・協働事業

- ① 地域福祉サービス事業（点数預託による住民参加型在宅福祉サービス）

- ② ふれあい・いきいきサロン事業
（興居島地区6拠点 / 松山市全域 174 拠点）

- ③ 地域交流サロン事業
（興居島地区 1 拠点/松山市全域 43 サロン）

- ④ 地域福祉活動計画の策定（31 地区社協策定済 / 令和 2 年 7 月現在）
（興居島地区 第 1 期計画 平成 23 年度策定）

- ⑤ その他（地域の特性を生かした地区独自の事業等）

(3) 地域福祉活動計画（地区社協）の必要性

「地域住民だれもが住みやすいまちづくり」を目指すため、地域ごとの特性を生かした地区社協単位での活動計画の策定を行い、住民参加による小地域活動の推進が求められています。また、行政計画及び市社協計画とも連動した計画となるよう、連携、協働が重要です。

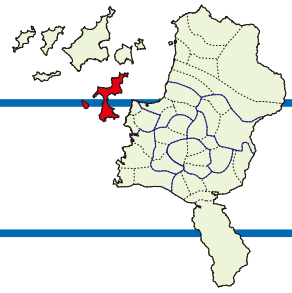
■地区の概要

(令和2年4月1日現在)

面積	8.74k m ²
人口	1,101 人
世帯数 (1 世帯当たりの人口)	651 世帯 (1.6 人)
高齢者数 (高齢化率)	689 人 (62.5%)
民生委員・児童委員／みまもり員	14 人 / 8 人
町内会・自治会・区長会等	9ヶ所
<p>名峰「伊予小富士」の麓に広がる風光明媚な当地は、高浜港から興居島の泊行きフェリーで約 10 分、由良港行きフェリーで約 15 分のところにある。春は桜や桃の花、初夏は蜜柑の花に覆われ、夏期には枇杷・桃の、秋から冬期にかけては温州蜜柑・伊予柑の収穫に忙しい。また、蛸・メバル・アジ・ヒジキ・テングサ等の漁や遊漁船も盛んに営まれている。夏には海水良質の相子の浜海水浴場・鷲ヶ巣海水浴場が海水浴客で賑わう。伝統文化として秋祭りの「船踊り」は文化財に指定されており、伊予水軍太鼓発祥の地となっている。春の「島四国」での島一巡、夏の「宮島管絃祭」では夕闇の海岸線が提灯のあかりで彩られる。</p> <p>興居島といえば「みかん、いよかん、せとか」などの柑橘類やビワの栽培が盛んですが、酪農家、瀬戸内特有の温暖な気候、人情味溢れる住民、おいしい果物・魚介類等、数え上げればきりがなくらい自然に恵まれた地域である。</p> <p>最近が高齢化・少子化が進み特に若者の減少が目立っている。しかしながら、高齢者の方は非常に元気で活発に活動をしている。わが地域は非常に歴史が古く、縄文式土器も出土しており、平安時代には、現在無形文化財に指定されている「船踊り」も活発であったと記されている。また、神社・仏閣等非常に古い時代に建立されており、歴史の古さを物語っている。</p>	

■地区社協の概要

主な活動拠点	興居島支所・由良公民館・泊公民館
構成メンバー	会長 (1 名) ・ 副会長 (2 名) ・ 事務局長 (1 名) ・ 会計 (1 名) ・ 理事 (7 名) ・ 評議員 (9 名) ・ 監事 (2 名) ・ 援護部長 (1 名) ・ 啓発調査部長 (1 名)
理事会等の開催	理事会 (年 2 回) ・ 評議員会 (年 2 回) ・ 総会 (年 1 回)
構成関係団体	町内会・広報委員会・公民館・まち協・民児協
主な自主事業	地域福祉サービス事業、ふれあい・いきいきサロン事業 福祉学習事業、心配ごと相談所開設、ふれあいタクシーほか
サロン数	ふれあい・いきいきサロン 6ヶ所 地域交流 1ヶ所
地域福祉活動計画の策定状況	平成 23 年度策定



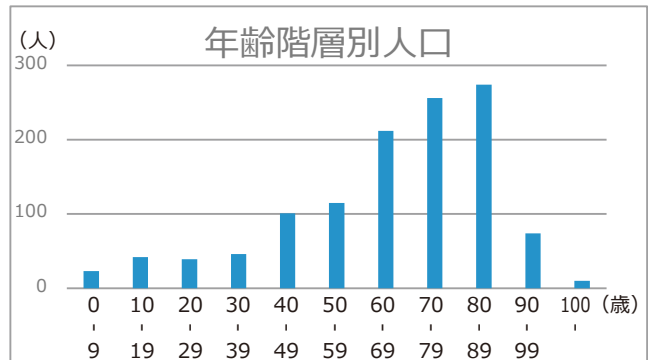
ごごしま
興居島地区

【地区の特色】

瀬戸内特有の温暖な気候、人情味溢れる住民、おいしい果物・魚介類など自然にめぐまれた地域である。最近は特に高齢化・少子化が進んでいる。大変歴史が古い地域で縄文式土器も出土されており、平安時代には無形文化財に指定されている「船踊り」も活発であったと記されている。また、神社、仏閣等、非常に古い時代に建立されており歴史の古さを物語っている。



無形文化財「船踊り」



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の団結が強い ・住民間でのつきあいがある ・治安がいい ・人が優しい、温かい ・子ども達からのあいさつが活発 ・海の幸、山の幸がある ・みかんがおいしい ・自然が多い ・釣り人が来る ・お試し移住施設（ハイムインゼルごごしま）がある
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・食堂がない ・コミュニティの場がない ・獣害（いのしし） ・空き家が多い ・農業をする若い世帯は通いで来ている（親と同居せずに住める住居があれば移住したい） ・ふれあいタクシーの運転手が少ない（現在、車7台・運転手9名）
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のみの世帯、高齢者の独居世帯が多い ・身寄りが無い人が多くなった ・足腰が弱るとゴミ捨てや畑のある山に行けない ・子ども、若者が少ない ・公共の交通機関がない ・買い物や通院が不便 ・島外への病院（専門科）へ行きづらい ・コミュニティの場がない ・災害発生時の避難補助が必要 ・介護保険で利用できる事業所が少ない

構成団体	各町連絡会・町内会・まち協・公民館・民児協		
主な取り組み	活動内容		
福祉学習の推進	小・中学校と連携し、高齢者サロンと子どもの交流や清掃活動など福祉学習の推進をしています。		
各種団体への支援	島内で活動している様々な団体へ助成し、活動の支援を行っています。		
心配ごと相談	地区民協と連携して島内の高齢者宅を訪問し、生活上の心配ごとを聞いて、必要であれば地域包括支援センターに繋ぐなどの活動を行っています。		

ふれあいタクシー（過疎地有償運送事業）

島内には公共の交通機関がなく、移動手段のない住民を地域住民の手で支えるため福祉施設と連携して平成 27 年から「ふれあいタクシー」の運行を開始しました。現在、車 7 台、運転手 9 名で運行しており、買い物や通院などに年間延べ約 1,240 名の利用があります。



<地区社協が目指すもの>

現在、島内で運行する「ふれあいタクシー」について、5 年先を考えるとボランティア運転手の確保や利用会員の減少など課題があります。興居島地区にもまちづくり協議会が発足し、地区社協も役員として参画しているため、部会や他団体と連携し、興居島の島民のためにどうすればよいか話し合い、島民同士助け合いながら安心して暮らせる町づくりを目指していきたくて考えています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	12 名 2 名	■町内会・自治会・区長会等	9 団体
	■まち協の設立	平成 29 年度	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	7 クラブ 1 団体 9 組織

離島により人口の減少が進むなかで、市街地では難しい日常的なつながりが世代間等関係なく形成されているお互いに顔のみえる関係が特徴です。島で暮らしていくためには住民同士助け合っていかなければならないという思いから、地区社協・地区民協が発起人となり、島内の福祉施設が主体となった「ふれあいタクシー（過疎地有償運送事業）」の運行を始め、地区社協として継続的な運営支援を行っています。高齢者サロンを高齢者のみの場とするのではなく、学校との連携による世代間交流や福祉教育の場としていたり、高齢者宅訪問も実際に福祉サービスにつなげているなど、一事業に複数の効果を持たせている活動は他地区の参考にもなっています。



興居島地域福祉活動計画策定委員会の開催状況

1.委員会メンバーの選定

7ページに掲載

2.策定委員会の開催

策定委員により話し合い、各事業の評価と課題をあらいだし、5年計画を検討。

地区	名称	場所	開催日時	参加者	内容
興居島	策定委員会	由良公民館	第1回 R1.8.10 14:00~15:00	策定委員14名	地域福祉活動計画についての説明 委員長等の決定
		興居島支所	第2回 R1.9.10 14:00~15:00	策定委員15名	5年計画の協議 地域福祉台帳の確認
		興居島支所	第3回 R2.6.25 13:30~16:00	策定委員8名	5年計画の協議 地域福祉台帳の確認
		由良公民館	第4回 R2.9.18 14:30~15:00	策定委員30名	表紙・構成・内容等の最終確認



3.地区役員会での承認と計画内容等更新・変更

- 委員会で検討し作成した計画は、今後、地区社協役員会に提示し承認を受けます。
- 承認後、地域住民に広報し、計画の実行に向け事業展開を行います。
- 市社協事業等の見直しなどの影響で、内容変更を余儀なくされることが想定されます。
- 委員会・役員会で協議し、修正を行いながら進化し、柔軟なスタイルを継続させる計画とします。

興居島地区地域福祉活動計画策定委員名簿

役 職	氏 名	備 考
委員長	山内 耕太郎	興居島地区社会福祉協議会 会長 由良町内会長
副委員長	中川 保	興居島地区各町連絡協議会 会長 泊町内会長
副委員長	山西 繁信	興居島地区民生児童委員協議会 会長 門田町内会長
記録	竹内 國夫	興居島地区社会福祉協議会 事務局長 馬磯町内会長
委員	石佐喜 成光	興居島地区社会福祉協議会 会計 興居島地区民生児童委員協議会 副会長
委員	田中 寿子	興居島地区社会福祉協議会 援護部長 興居島地区民生児童委員協議会 副会長
委員	池本 弘子	興居島地区社会福祉協議会 啓発調査部長 興居島地区民生児童委員協議会 主任児童委員
委員	青井 幹夫	興居島地区社会福祉協議会 理事 北浦町内会長
委員	若洲 勇成	興居島地区社会福祉協議会 理事 船越町内会長
委員	池本 三嗣	興居島地区社会福祉協議会 理事 釣島町内会長
委員	山岡 省記	興居島地区社会福祉協議会 理事 鷲ヶ巣町内会長
委員	石丸 國雄	興居島地区社会福祉協議会 理事 みまもり員代表
委員	林 耕一郎	興居島地区社会福祉協議会 理事 興居島地区まちづくり協議会 事務局長
委員	後藤 基博	興居島地区社会福祉協議会 理事 消防分団長
委員	重松 佳久	松山市役所 興居島支所長

興居島地区地域福祉活動計画

1. 基本理念

思いやり 心で結ぶ ごご島の里

2. 基本計画

(1) 地区社協の基盤整備

実施計画	年度計画					5年計画
	2	3	4	5	6	
理事会・評議員会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	理事・評議員に地区社協事業を理解してもらい、体制の充実と福祉活動事業の企画・運営などについて協議を行う。
福祉だよりの発行	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	継続して、年1回の発行、全戸配布をし、福祉事業の周知を図る。
各種会則・規則の整備	検討	充実	⇒	⇒	⇒	会則を確認し、時代に合った内容の見直しを検討し、地区社協の基盤整備を図る。
活動資金の確保 (共募・寄付金等)	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	継続して、共同募金活動の啓発を行ない、住民の理解を得るとともに財源確保に努める。財源確保に繋がる何らかの事業等を検討する。
役員会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	継続して、必要に応じて開催する
地区社協の拠点整備	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地区社協を住民や各団体等に理解いただき、基盤整備が整ってから拠点整備について協議を行なう。将来的には拠点整備を目指す。

(2) 福祉学習とボランティア

実施計画	年度計画					5年計画
	2	3	4	5	6	
福祉学習事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	市社協からの助成金を活用し、小中学校福祉学習、伝統文化行事、清掃活動、高齢クラブ活動等の事業を継続して実施する。
児童健全育成に関する事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	福祉学習事業の一つとしても実施している。今後も小中学校との連携を図り、継続して実施する。(少年の日祝金・年賀ハガキ・船踊り等への助成等)
各種研修会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地域包括支援センターや事業所等が開催する介護教室等への協力を継続して実施する。地域住民が求めるテーマによる研修内容等を協議する。
地区内施設等の行事への参加・協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	情報の共有を行ない、出来る範囲の参加・協力を行なう。(地区内で開催される文化祭・運動会・入学式・卒業式等への協力)

(3) 在宅福祉・生きがい介護予防サービス

実施計画	年度計画					5年計画
	2	3	4	5	6	
ふれあい・いきいきサロン事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	6サロンが活発に活動している。活動メニューの充実を図る。 興居島地区を単位とした研修会（講師体験会等）の開催を希望する。
地域交流サロン事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	1サロンが活発に活動している。公民館等他団体と連携し、地域の要望があればサロン立ち上げ等を検討する。
地域福祉サービス事業 （協力会員活動）	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	普段の助け合いが出来ており、現在のところ利用はないが、将来的に必要となれば活用を検討する。
独居高齢者・在宅ねたきり・認知症高齢者等訪問	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	独居高齢者への乳酸菌飲料配布による安否確認を継続して実施する。ねたきり・認知症高齢者への見舞金配布についても継続する。
心配ごと相談事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	固定の相談窓口を設けているわけではないが、顔見知りの関係が出来ており、民生委員個人が各種相談を受け専門相談については専門窓口へつないでいる。

(4) 関係団体との協働・連携

実施計画	年度計画					5年計画
	2	3	4	5	6	
公民館事業との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	積極的に連携、協働を図る。
民協会との協働・連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	更なる連携・協働を図り、地域福祉の推進を目指す。地区社協事業との役割の明確化を図る必要がある。
自主防災組織との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	各町内会単位に自主防災組織が設置されており、防災訓練や研修会等に積極的に参加協力する。
高齢クラブ支援	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	継続して助成支援を行なう。
地域包括支援センターとの連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	更なる連携強化を図るとともに、介護予防教室の開催や個別ケースの情報共有等を行ない、連携して対応に努める。
まちづくり協議会との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	連携・協働を図り、地域福祉の推進を目指す。

(5) その他

実施計画	年度計画					5年計画
	2	3	4	5	6	
先進地視察研修	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	交流を図りながら他市等の先進的な取り組みや施設見学等を行ない、今後の活動の参考とする。
ふれあいタクシー	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	福祉施設と連携して平成27年度から運行を開始し、買い物や通院など年間延べ1,240名の利用がある。ボランティア運転手の確保や利用会員の減少など課題があるが関係機関と引き続き協議する。
防災意識の啓発	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	自然災害を中心に知識習得に努め、他機関と連携し、防災意識の高揚を図る。
災害発生時の対応策と体制の検討	検討	実施	充実	⇒	⇒	平時および災害発生時の社会福祉協議会としての活動を検討する。

地域福祉台帳

— 鍵穴式（キーホール方式）地域福祉台帳 —

- この台帳は、人材、団体、仕組・行事等、拠点・施設等の資源を地区別と町別ごとにまとめたものです。
- この台帳は、今後も新たな情報の追加・変更等を行います。
- 地域の概要にあたる地区紹介は、松山市ホームページ公民館紹介からの抜粋です。

令和2年4月1日現在

※総人口÷世帯数=1世帯あたりの人口

【地域の概要】

●面積	8.74	k㎡
●人口	1,101	人

●世帯数	651	世帯
●高齢化率	62.5	%

各団体役職員等

- 各町連絡協議会（町内会）
- 広報会 公民館
- まちづくり協議会
- 地区社会福祉協議会
- 地区民生児童委員協議会
- 地区共同募金会
- 地区日赤共同募金会
- 地区自主防災組織連合会
- 地区防災士会
- 松山市消防興居島分団
- 松山市女性防火クラブ連合会
- 松山西地区防犯協会
- 松山西交通安全協会 興居島支部
- 興居島子ども教室実行委員会
- 婦人会
- 高齢クラブ連合会
- 船踊り保存会
- ハイムインゼル管理組合
- 地域おこし協力隊 松山離島振興協会
- まつやま里島 ツーリズム連絡協議会



- 島四国
- 地方祭・船踊
- 盆踊り
- 各地区神社祭
- 公民館行事
(体育祭・文化祭・各種講座・交流会
球技大会)
- 学校・こども園行事
(運動会・講座・文化祭・サイクリング
交流会)
- ハイムインゼル管理組合
(収穫祭・定例会)

- 公民館(分館・集会所を含む)
- 松山市役所興居島支所
- 松山西警察署興居島駐在所
- 興居島小学校 興居島中学校
- もものはなこども園
- 農協 JAえひめ中央由良出張所
- 農協 JA松山市興居島支所
- 興居島診療所
- デイサービスセンター興居島
- グループホームごごしま
- ヘリポート
- (株)ごごしま【汽船】
- ハイムインゼル興居島
- ふれあいタクシー事務所
- 郵便局

民生委員・児童委員 2名
主任児童委員 1名
みまもり員 2名

広報委員会
第一泊友会 (高齢クラブ)
第二泊友会 (高齢クラブ)
婦人会
漁業婦人部

泊町
 $388 \div 218 = 1.78$

しおかぜ公園生き生きサロン
泊ヘルスサロン
盆踊り
敬老会
いのこ
十七夜 (厳島神社)
泊地区文化祭
泊地区体育祭
泊まつり

興居島支所泊出張所
泊公民館
泊南分館
泊港
泊郵便局
小富士山
相子の浜
しおかぜ公園
島のテーブル
済生会介護サポートたかはま 興居島

厳島神社
蛭子神社
弘正寺
JA松山市興居島支所
在介 ごごしま
テイ ごごしま
GH ごごしま

民生委員・児童委員 3名
主任児童委員 1名
みまもり員 2名

広報委員会
北浦長生会 (高齢クラブ)
由良桃寿会 (高齢クラブ)
由良長生会 (高齢クラブ)
JAえひめ中央由良女性部

愛護班(北浦)
母子会

由良町 (北浦)
 $325 \div 169 = 1.92$
 $(122 \div 45 = 2.71)$

由良体操教室
ごごしま囲碁・将棋愛好会サロン
ガチャヨガ
大正琴教室
いのこ
由良校区文化祭
盆踊り
敬老会

興居島支所
由良公民館
由良港
北浦集会所
興居島診療所
郵便局
駐在所
もものはなこども園
JAえひめ中央農協由良出張所
ハイムインゼルごごしま

弁財天
由良公園
天在諸神社
蛭子神社
中厳前神社
観音寺

民生委員・児童委員 3名
みまもり員 2名

門田友愛会(高齢クラブ)
馬磯漁業婦人部

門田町(馬磯)
 $202 \div 111 = 1.82$
 $(61 \div 34 = 1.79)$

蛭子祭(馬磯)
敬老会
盆踊り
福祉講座(小糸先生)

門田集会所
馬磯集会所
門田公園
蛭子神社
磐神神社
浜宮神社
大將軍神社
金比羅神社
龍王神社

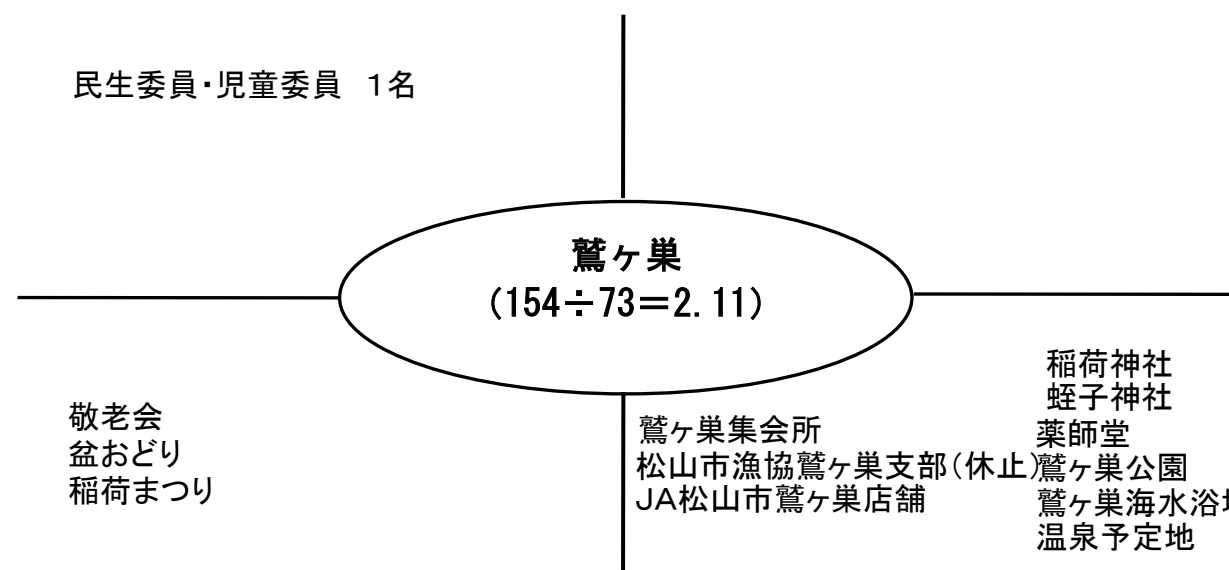
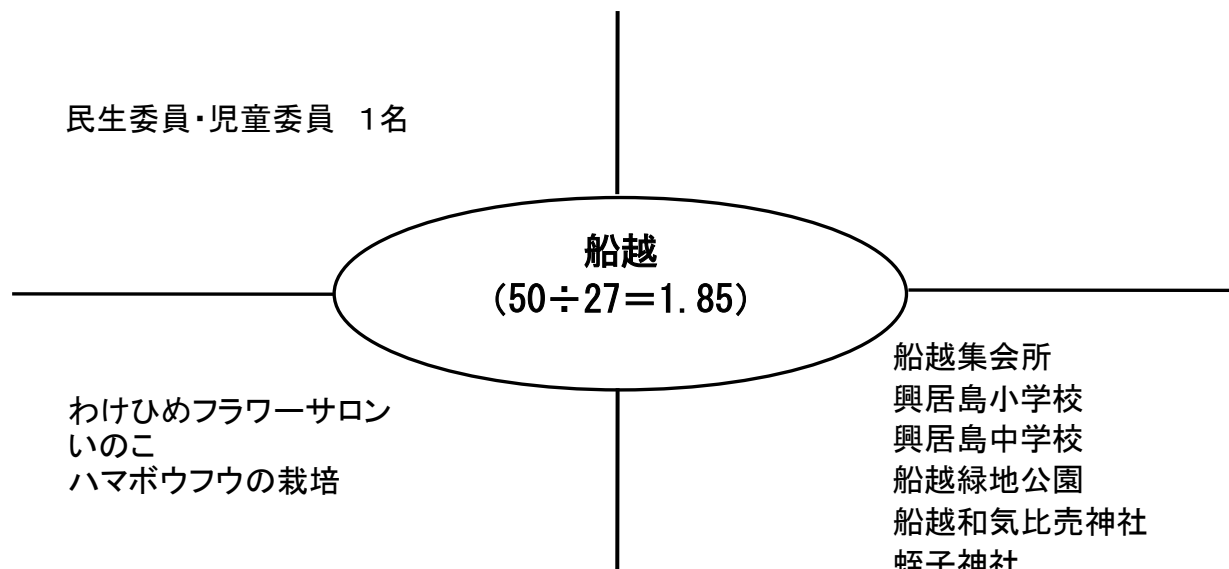
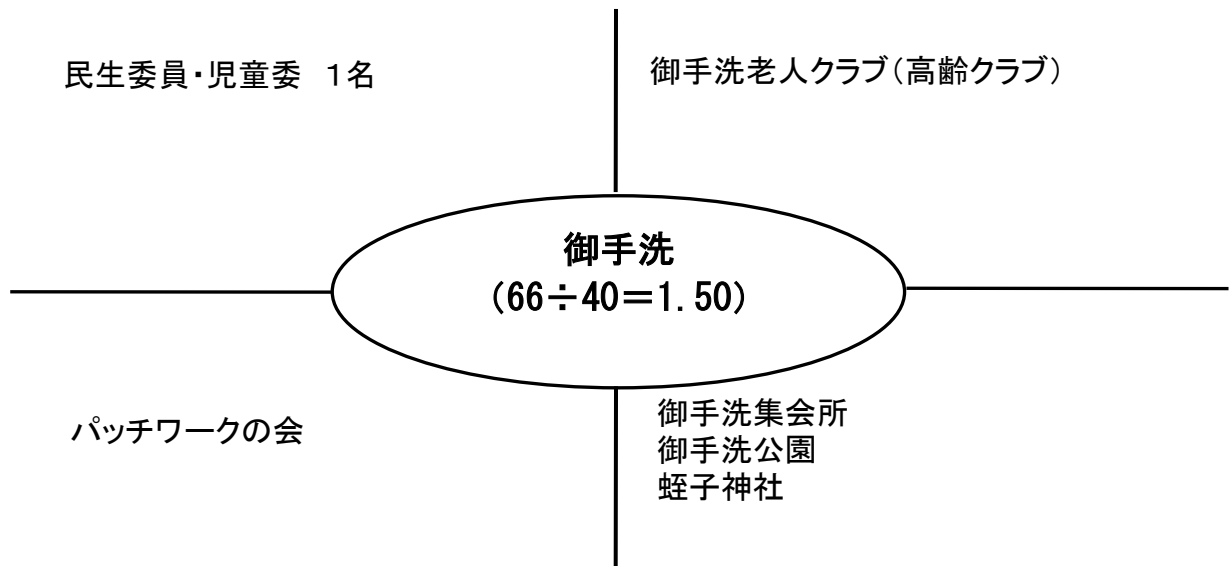
民生委員・児童委員 1名
みまもり員 1名

漁業婦人部
JA女性部

釣島
 $79 \div 28 = 2.82$

釣島サロン
敬老会
灯台のイベント
盆踊り
四月祭
離島介護サービス対策事業

釣島集会所
釣島灯台
興居島小学校釣島分校(休校)
JAえひめ中央農協釣島集荷場
五十鈴神社



令和2年度 興居島地区社会福祉協議会 連絡名簿

役員別	氏名	他の公職名
会長	山内 耕太郎	由良町内会長・日本赤十字松山市地区評議委員会由良地区評議員
副会長	中川 保	各町連絡会会長・泊町内会長・まちづくり協議会会長・自主防災会会長・興居島地区共同募金会会長・日本赤十字松山市地区評議委員会泊地区評議員・興居島日赤募金会
副会長	山西 繁信	興居島地区民生児童委員協議会会長・門田町内会長・松山市共同募金会委員
事務局長	竹内 國夫	馬磯町内会長
理事	青井 幹夫	北浦町内会長
	若洲 勇成	船越町内会長
	池本 三嗣	釣島町内会長
	山岡 省記	鷲ヶ巣町内会長
	石丸 國雄	みまもり員代表
	林 耕一郎	まちづくり協議会事務局長
	後藤 基博	消防分団長
会計	石佐喜 成光	興居島地区民生児童委員協議会副会長
監事	池本 正志	由良公民館長
	山内 力ネ子	泊公民館長
援護部長	田中 壽子	興居島地区民生児童委員協議会副会長
啓発調査部長	池本 弘子	興居島地区民生児童委員協議会主任児童委員
顧問	小糸 光	興居島診療所医院長
	木村 英明	松山西警察署興居島駐在所所長
その他	福島 ツネミ	御手洗地区連絡員

評議員	山本 士人	高齢クラブ連合会(由良)
	藤森 建彦	高齢クラブ連合会(泊)
	八木 誠一	興居島小中学校長
	宇都宮 公子	ももの花こども園 園長
	村上 誠	グループホームごこしま
	西原 勇平	デイサービスセンターごこしま
	池本 良雄	サロン事業代表
	山本 由紀	サロン事業代表
	山下 篤輝	株式会社ごこしま社長

2020.05.11

興居島地区紹介

- ふれあいいいきいきサロン
- 地域交流サロン
- 船踊り（由良地区）
- 船踊り（泊地区）
- 磐神神社
- 宮本武之輔

興居島地区 ふれあい・いきいきサロン開催状況一覧

《釣島（つるしま）サロン会》

実施場所	松山市泊町甲 462-1 釣島集会所		
年間回数	48回(週1回)	実施日時	毎週土曜日 8時30分～12時
参加人数	約18人	参加費(会費)	

《ごごしま囲碁・将棋愛好会サロン》

実施場所	松山市由良町 1048-2 由良公民館		
年間回数	24回(月2回)	実施日時	
参加人数	約13人	参加費(会費)	

《由良体操教室》

実施場所	松山市由良町 1048-2 由良公民館		
年間回数	30回(週1回)	実施日時	
参加人数	約15人	参加費(会費)	

《泊ヘルスサロン》

実施場所	松山市泊町 泊公民館		
年間回数	36回(月3回)	実施日時	第3金曜日 15時～18時
参加人数	15名	参加費(会費)	100円

《しおかぜ公園生々サロン》

実施場所	松山市泊町しおかぜ公園内		
年間回数	12回(月1回)	実施日時	毎月1日 13時～16時
参加人数	12名	参加費(会費)	1回100円

《わけひめフラワーサロン》

実施場所	松山市泊町1368 船越分館		
年間回数	12回(月1回)	実施日時	毎月13日 9時～12時
参加人数	13人	参加費(会費)	100円/回

興居島地区 地域交流サロン開催状況一覧

《ガチャヨガ》

実施場所	松山市由良町 1048-2 由良公民館		
年間回数	12回(月1回)	実施日時	毎月水曜日1回 17時30分～20時
参加人数	15人	参加費(会費)	700円/回

船踊り（由良地区）／愛媛県無形民俗文化財



船踊り（泊地区）



《磐神神社》（松山市指定天然記念物／昭和43年2月21日指定）



興居島の門田町大室にある。この神社の森は中予地方島しょ部における代表的な、暖帯海岸の照葉樹林の一つである。この神体の、周囲34m、高さ5mの花崗岩の巨岩を、地元の人々は磐神さまとして信仰してきた。

広さ198aほどの林内には、約70種の植物が繁茂しているが、最も多いのはホルトノキ（モガシ、中予地方の方言でシチジョウ）で、高さ20～30mのもの大小合わせて約200本が密生している。その中には根元から幹が10本にも分かれて、巨木となったものや胸高幹周4.5mの木も見られる。その他には、高木のヤブニッケイ・ヤブツバキ・カクレミノ、低木のクスドイゲ・ネズミモチ・ヤブムラサキなど、これら大小の木々にはアケビ・ムベ・キツタ・オオイタビ・テイカカズラなどからみつき、一層林内を暗くしている。また下草には当地方では珍しいノシランの群生・シャクの大集落があり、ウバユリ・ヤブラン・ツワブキ・ポタンツル・ベニシダ・イシカグマ・イノデ・オオバノイノモトソウ・ヤブソテツなどがある。

《宮本武之輔》（土木技術者）



明治 25 年	温泉郡興居島村（現松山市由良町）に誕生 13才のとき故郷を出て、 広島、大阪と居を変えた後上京する。
明治 43 年	東京の錦城中学を卒業、第一高等学校入学
大正 6 年	東京大学土木工学科を首席優等で卒業 内務省に入省。 利根川第二期改修事務所
大正 8 年	荒川改修事務所に勤務
大正 12 年	1年半の欧米視察
昭和 2 年	信濃川補修事務所主任等を歴任
昭和 3 年	工学博士
昭和 5 年	信濃川分水大河津可動堰の仮締め切りを切る
昭和 11 年	東京帝国大学工学部講師に就任
昭和 12 年	東京帝国大学工学部教授に就任
昭和 13 年	興亜院創設・興亜院技術部長に就任
昭和 14 年	宮田兵吉の看病のため興居島へ帰郷
昭和 16 年	第7代企画院次長に就任

内務省において、宮本はまず利根川、荒川の河川改修に従事した。特に、日本の代表的放水路である荒川放水路工事には、荒川下流部の工事の現場の直接の責任者として今日われわれの見る荒川の姿となったその改修に大きな貢献をした。

信濃川補修工事として施工していた「可動堰」は完成目前となっていました。昭和5年（1930年）8月、長野県を襲った集中豪雨は、信濃川の水位を急激に上昇させ、分水路付近でも仮締め切りを越えんばかりに増え続けました。

現場を預かる宮本は、仮締め切りを切って信濃川の濁流を日本海に導くか、下流域の市町村が洪水に見舞われるのを覚悟で仮締め切りを切らないか、ぎりぎりの決断に迫られました。宮本は、「土木屋としてのおれの任務は、人々の暮らしを豊かにすることなのだ。」と、工事が大きく遅れることを知りながら、仮締め切りを切り、人々を洪水の危機から救いました。



第2期興居島地区地域福祉活動計画

発行：興居島地区社会福祉協議会

《問い合わせ先》

松山市社会福祉協議会 地域支援課

〒790-0808 松山市若草町8番地2 松山市総合福祉センター内

Tel : 089-941-3828 / Fax : 089-941-4408

Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

E-meil chiiki@matsuyama-wel.jp

発行日：令和2年9月